# 西高校生レポート

西高農場は、先端技術の研究・研修、憩い、自然とのふれあいとして開放しています。

## 湛水直播栽培

西高校では昨年から、『鉄コーティング種子』による湛水直播栽培にも取り組んでいます。種子を鉄コーティング処理することで、表面播種でも種子を浮きにくく、鳥害防止にも役立ちます。

また播種量の調整や、適正な水管理と除草管理を行うことで、十分な苗立ちが確保できるため、昨年は10ａ当たり9.2俵の収量が得られました。

▲スタッフの指導のもと、生徒みずから直播を行う。

今年も生物資源系列の生徒たちが、担当者からやり方を教わりながら直播作業を行いました。また今後、乾田直播や慣行栽培の圃場との比較検討も行います。

▲確実に表面播種された、直播圃場の様子。

## 7月早取りねぎの定植

生徒たちが新作型『7月早取りねぎ』の定植を、能代市農業技術センター協力のもと、同校圃場で行いました。

センター職員から機械の使い方を学びながら、畝立てや肥料の施用を行い、30ａの圃場で自身が担当する畝ごとに植えていきました。昨年10月に播種を行い、育苗管理を経て定植したねぎは、来月上旬に収穫を予定しています。

▲機械でしっかり畝立てを行い…。

▼丈夫に育つために肥料を施用し…。

▲ひっぱり君で、きちんと定植。

## 37株の疎植栽培

▲まっすぐ植えられるように、慎重に運転を行う。

当地域における、あきたこまちの疎植栽培の適応性を調べるため、生徒たちが『37株の疎植』を行いました。はじめにヰセキ東北能代営業所のスタッフが、栽培方法や機械作業等について説明を行い、さっそく作業を開始。生徒たちは疎植田植と慣行田植との違いを確認しながら、疑問点などを互いに話し合い、疎植栽培について理解を深め合いました。

▶株間30㎝で植えられた。

次回は、畑の高畝栽培・有機肥料の作成を掲載します。



乙女座（8・23～9・22） 知的好奇心が旺盛になる月。カルチャーセンターの体験講座を受けたり、講演を聞いたりして。うれしい発見あり